

◆2024 年度 F D C 事業の実績報告 （2025 年 3 月末現在）

会 議 名		日 程	会 議 内 容
評議員会		①5 月 28 日 (火)	・2023 年度事業報告、2023 年度計算書類及び財産目録の承認、評議員の選任、理事の選任、監事の選任
理事会		①5 月 9 日 (木)	・2023 年度事業報告及び附属明細書の承認、2023 年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認、定時評議員会の招集
		②6 月 6 日 (木)【書面】	・理事長、副理事長及び専務理事の選定
		③2025 年 2 月 3 日 (月)	・2025 年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込み、2024 年度事業進捗状況の報告、規則の改廃
委員会	① 事業評価・事業企画委員会	11 月 22 日 (金)	・2023 年度事業評価、2024 年度事業進捗状況の報告、2025 年度新規事業提案
	② 事業運営委員会	12 月 13 日 (金)	・2024 年度事業進捗状況の報告、2025 年度事業計画

1 公益事業

【 PRODUCT（ものづくり・商品開発） 】

No.	事 業 名	事 業 内 容	実 績
1	JAPAN YARN FAIR & THE BISHU～糸と尾州の総合展～	・全国最大規模の糸に特化した商談会「JAPAN YARN FAIR」を開催し、川上企業と川中企業とのマッチングの場を創出した。 ・川上企業が糸に関する情報や提案を発信し、川中企業が新商品開発に取り組むきっかけとすることで、尾州産地における高付加価値な商品開発を促進した。 ・「THE BISHU」では、オープニングセレモニー、ジャパン・テキスタイル・コンテスト(JTC)表彰式、「糸と布の市」を実施した。また、JTC、翔工房及びインパナ塾の作品、尾州マークのPRパネル等を展示した。	・会期:2025 年 3 月 5 日 (水)・6 日 (木) ・会場:いちい信金アリーナ・いちい信金アリーナ A・B (一宮市総合体育館) ・出展者:40 企業 3 団体 1 大学 ・来場者:3,388 名 (ビジネス 2,511 名、一般・学生 877 名)
2	福祉衣料に関わる開発支援	・尾張繊維技術センター、一宮特別支援学校、地元企業と連携し、子供たちの夢を叶える服づくり(福祉向け商品開発[車椅子用レインコート等])を支援した。	・一宮特別支援学校の PTA 関連行事に、愛知学泉大学家政学部ライフスタイル学科の平岩暁子講師をアドバイザーとして派遣し、「ファッションと健康」をテーマに意見交換を行った。実施日:7 月 23 日 (火) 参加者:16 名
3	ファッション・テクノ工房	・柄シミュレーションソフトを活用して企業の見本製作を支援した。	・見本製作枚数:78 枚 (延べ 34 社利用)

【 PERSON（人材育成） 】

No.	事 業 名	事 業 内 容	実 績
1	尾州インパナ塾	・尾州産地の繊維企業で働く若手人材を対象に、原料から最終製品に至る製造工程の基礎的知識や最先端技術、ファッション、色彩心理などを幅広く学ぶとともに、熟練の匠が複数の受講者とチームを組んで試作開発実習などを行った。 ・多角的かつ実践的なカリキュラムを通じて、産地の将来を担う人材育成を行った(産地企業間の横の繋がりを深める効果を期待)。	・開催期間:5 月 11 日 (土)～2025 年 3 月 21 日 (金) (修了式・成果発表会) ・受講者:18 名 (正規コース 13 名、部分コース 5 名)
2	ものづくりリレー	・繊維企業への就職を希望する学生を対象に、工場など現場での実践的なものづくり体験を通じて、素材開発の重要性やノウハウを学ぶ機会を提供し、産地の技術承継を見据えた人材育成を行った。	・開催期間:6 月 1 日 (土)～2025 年 3 月 6 日 (木) ・参加者:3 名 (大学 2 名、専門学校 1 名)

3	翔工房	・感性溢れるアイデアをもつ学生が、経験豊富な「匠ネットワーク」の技術者とコラボして、イメージ(デザイン画)を基に、生地、ガーメントを製作した。 ・また、素材への理解を深めるため、製造工程の各現場で製織技術や染色整理技術を学び、体験する機会を提供し、繊維・ファッション産業の次世代を担う人材育成に取り組んだ。	・開催期間:7月3日(水)～2025年3月6日(木) ・参加者:15名(15校) [応募者 53名(22校)から書類審査を実施] ・講師:匠ネットワーク(12名参加)		
4	①若手人材産地訪問ツアー	・ファッション産業へ進路を希望する学生を対象に、将来、産地企業への就職活動につながるよう、尾州産地への理解をより深める機会として実施した。	・実施日:8月7日(水)・8日(木) ・参加者:17名(4大学、3専門学校) ・内 容:尾州産地の概要説明、ミニワークショップ、産地工場見学		
	②デザイナー産地研修会	・9月のBMEで実施したセミナーの受講者を中心に参加者を募り、デザイナーが尾州への関心を更に高めるとともに、産地企業との直接交流で新たな引き合いにつながるよう取り組んだ。	・実施日:11月20日(水)・21日(木) ・参加者:25名 ・内 容:産地工場見学、経営者との意見交換		
5	各種セミナー				
	(1)マーケットセミナー (年4回)	・消費者目線での商品企画・開発を促進するため、最新のトレンド情報を年4回Web配信で産地企業に提供した。 ・テーマ: ①「2024夏の注目アイテム」 ②「2025春の注目アイテム」 ③「2025夏のヒット商品予測」 ④「2025秋の注目アイテム」	・開催期間: ① 6月19日(水)～7月3日(水) ② 9月13日(金)～27日(金) ③ 12月6日(金)～20日(金) ④ 2025年3月14日(金)～28日(金)	・受講者: ① 28名 ② 32名 ③ 29名 ④ 26名	・会場:Web配信、FDC ・講師:Kuriyama R&D Office 代表 栗山 志明 氏
	(2)新規採用者向けセミナー (尾張繊維技術センターと共催) (年1回)	・繊維企業の新規採用者を対象に、繊維に関する基礎的知識を学ぶカリキュラムを提供した。 ・内容:「繊維原料・紡績・撚糸、染色、織物・ニット、仕上げなどの基礎知識」の講義及び尾張繊維技術センターの施設見学	・開催日:6月21日(金)	・受講者: 41名	・会場:FDC、尾張繊維技術センター ・講師:FDC、尾張繊維技術センター職員
	(3)繊維技術セミナー (尾張繊維技術センターと共催) (年3回)	・繊維企業の技術者を対象に、これからの繊維産業が必要とする新たな技術や仕組等に関する情報を提供した。 ・テーマ:①a「手触りを数値化する風合い試験機」b「サステナブル素材:羊毛」 ②「繊維用撥水剤の過去・現在・未来-繊維への機能付加としての役割を考える-」 ③「AIによる自動検査システムに関する研究開発」	・開催日: ①7月5日(金) ②12月13日(金) ③2025年3月10日(月)	・受講者: ①63名 ②55名 ③82名	・会場:尾張繊維技術センター ・講師:①a カトーテック㈱ b (一財)ケケン試験認証センター中部事業所②ダイキン工業㈱化学事業部③名古屋工業大学
	(4)テキスタイルトレンドセミナー (岐阜県繊維デザイン協会と共催) (年1回)	・テーマ:「世界は広い、君たちのターゲットは世界だ!!～フランスパリから、世界進出のために知っておきたいこと～」	・開催日 12月3日(火)	・受講者: 215名	・会場:岐阜毛織会館 ・講師:齋藤 統 氏

【 P R O M O T I O N （ビジネスチャンスの創出） 】

No.	事業名	事業内容	実 績		
1	東京展(Bishu Material Exhibition＜BME＞)の開催 ① 2025 春夏 ② 2025/26 秋冬	・東京・原宿で尾州産地展を開催した。 ・産地企業にネリーロディ社(仏)のトレンド情報を提供するとともに、JFW((一社)日本ファッション・ウィーク推進機構)のトレンドコーディネーターと提携することで、より魅力的な新商品開発(素材開発)を促し、ビジネスチャンスの拡大を図った。 ・9月のBMEでは若手デザイナーを対象に産地セミナーを実施した。	①開催日:4月16日(火)・17日(水)	・出展者:12社 ・来場者:879名 ・サンプルリクエスト点数:延べ6,084点(延べ886社)	・会 場 : WITH HARAJUKU HALL(東京・原宿)
			②開催日:9月25日(水)・26日(木)	・出展者:12社 ・来場者:867名 ・サンプルリクエスト点数:延べ5,801点(延べ830社) ・セミナー参加者9名 講師:宮浦晋哉氏	
2	海外販路開拓支援事業 ① ミラノ・ユニカ出展事業	・尾州産地から出展企業を公募し、テキスタイルの世界的な見本市「ミラノ・ユニカ」/ジャパン・パビリオンに、「ビシュウールコレクション」として出展し、イタリアを中心とした欧州での新規販路開拓を行うとともに、尾州産地のPRを行った。	・開催日:7月9日(火)～11日(木)	・出展者:2社1団体 ・ブース来場者:74社 ・サンプルリクエスト点数:延べ388点(延べ43社)	・会場:ロー・フィエラ・ミラノ(イタリア)
			・開催日:2025年2月4日(火)～6日(木)	・出展者:3社 ・ブース来場者:75社 ・サンプルリクエスト点数:延べ246点(延べ34社)	
	②「2024 中国向けテキスタイル輸出商談会 in 一宮」支援事業	・尾州産地のテキスタイルに関心を持つ中国バイヤーを尾州産地に招聘し、商談会を実施し、中国における販路拡大を目指す取組みを支援した。	・開催日:8月5日(月)・6日(火)	・日本企業20社、中国企業6社 ・主催:尾州産地バイヤー招聘実行委員会 (構成団体:日本毛工連、愛知県、一宮市、FDC) ・共催:ジェトロ名古屋貿易情報センター ・スワッチ依頼総点数:555点	・会場:FDC 展示ホール

3

尾州トータルイメージアップ活動

(1) 産地アピール事業

・登録商標「尾州マーク」
(使用規程運用(2016.4.1～))

・尾州の認知度と存在価値を高め、
販路拡大を図った。
日本:2014 年 8 月～
中国:2017 年 1 月～
英国:2023 年 6 月～
E U:2023 年 9 月～



(使用規程で定める「尾州産地」)

愛知県

愛西市、あま市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、北名古屋市、清須市、江南市、津島市、名古屋市、弥富市、大口町、大治町、蟹江町、扶桑町、飛島村

岐阜県

大垣市、海津市、各務原市、岐阜市、羽島市、瑞穂市、安八町、笠松町、岐南町、神戸町、輪之内町

承認件数

頒布枚数

下げ札

織ネーム

合 計

2016 年度

77 件

23,015 枚

15,950 枚

38,965 枚

2017 年度

186 件

100,558 枚

36,312 枚

136,870 枚

2018 年度

258 件

236,389 枚

89,023 枚

325,412 枚

2019 年度

232 件

312,179 枚

138,699 枚

450,878 枚

2020 年度

244 件

181,276 枚

88,229 枚

269,505 枚

2021 年度

318 件

185,230 枚

77,913 枚

263,143 枚

2022 年度

266 件

366,708 枚

116,030 枚

482,738 枚

2023 年度

320 件

483,201 枚

159,688 枚

642,889 枚

2024 年度

420 件

405,393 枚

171,165 枚

576,558 枚

合 計

2,321 件

2,293,949 枚

893,009 枚

3,186,958 枚

・メールマガジン

・催事案内等の情報提供[2 回/月配信]
(BME 開催告知など必要に応じて臨時配信を行った。)

・配信先:4,110 件 (3 月 31 日(月))に配信した件数)

・尾州オンライン展示会開催事業
(「BISHU-JAPAN.com」の運営)

・尾州産地の繊維企業や製品PRを行う Web プラットホームを運営。
尾州企業のデータベース的な役割を担った。
・産地企業の更なる参画を促し、販路開拓を図った。
(運用開始:2021 年 2 月運用開始)

・6 次募集期間:4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
・出展企業:88 社
・出展内容等:企業の社屋・工場の外観、製造設備、製品、人材の写真や企業情報をサイトにアップ。閲覧企業から出展企業に対するサンプルオーダー等の照会をメール配信する機能を備える。

・ミサंगा出前教室

・ミサंगाを作りながら「織る」仕組みを学ぶ教室を開催した。

①7 月 2 日(火)
②7 月 30 日(火)
③11 月 15 日(金)
④12 月 4 日(水)
⑤12 月 18 日(水)

①下出公民館
②イオンモール木曽川
③FDC
④一宮西病院
⑤内込公民館

・参加者:13 名
・参加者:33 名
・参加者:古知野高校 39 名
・参加者 4 名
・参加者 22 名

・ファミリー・クラフト教室
(尾張繊維技術センターと共催)

・ミサंगाを作りながら「織る」仕組みを学ぶとともに、繊維技術センターの施設見学を行った。

8 月 1 日(木)

・会場:FDC ・参加者:37 名
(「愛知の発明の日」協賛行事)

・尾州マーク付き製品等の販売
(マフラー、ネクタイ、ポーチ等)

【常設販売:FDC】

・糸と布の市

①2024 年春市
②2024 年夏市
③2024 年秋市
④2025 年冬市

①4 月 23 日(火)～25 日(木)
②8 月 20 日(火)～22 日(木)
③11 月 12 日(火)～14 日(木)
④2025 年 3 月 5 日(水)・6 日(木)

①～③会場:イオンモール木曽川
④「JAPAN YARN FAIR & THE BISHU～糸と尾州の総合展～」の開催に併せて実施

・展示即売会

①びしんビジネスマッチング
②SDGs まつり
③あんずマルシェ
④年末即売会
⑤あんずマルシェ

①10 月 30 日(水)
②11 月 22 日(金)
③12 月 4 日(水)
④12 月 16 日(月)
⑤2025 年 2 月 5 日(水)

①一宮市尾西市民会館
②名古屋東京海上日動ビルディング
③一宮西病院
④一宮市役所
⑤一宮西病院

・「尾州版愛知県手帳(2025 年版)」の受託販売

・発売日:10 月 18 日(金)

・販売場所:FDC

・地場製品の展示・PR 等

・常時

・場所:FDC

(2) 尾州ビジネスマッチング 2024	・クリエイティブディレクターの中 章氏(JTC 審査員)を中心にプロダクト推進チームをつくり、デザイナーと産地企業との結びつきの強化に努めた。	・マッチングを希望する企業がなかった。	
(3) 産地活性化支援事業			
・「匠ネットワーク」への支援	・産地が世代を越えて残さなければならない技、知識、経験を継承していくため、「匠」と称される技術者のネットワーク活動を支援した。	・主 催:匠ネットワーク ・期 間:4 月～2025 年 3 月	・匠ネットワーク:12 名
・「ひつじサミット尾州 2024」への支援	・尾州の工場/工房や飲食店などが参加し、オープンファクトリーを通じてものづくり文化を体験する産地活性化を図る取組みを支援した。	・主 催:実行委員会 ・開催日:10 月 25 日(金)～27 日(日)	・会場:尾州地域の工場、飲食店等
(4) その他			
・FDC 名称変更記念セレモニーの開催	・尾州ブランドの推進を図るため、4 月 1 日から(公財)尾州ファッションデザインセンターと改称することを記念してセレモニー(除幕式[FDC のロゴ])を開催した。併せて、FDC 公式アンバサダーの委嘱状交付式を行った。	・主 催:FDC ・開催日:4 月 1 日(月) ・尾州ファッションアンバサダー:北原里英氏	・会場:FDC ・参加数:61 名
・BISHU FES.関連	①BISHU THE SHOW(ファッションショー) プロデューサー:中田 優也 ②BISHU FES.POP UP STORE (①で紹介した衣装等の販売)	①開催日:10 月 12 日(土) 会 場:i-ビル 7 階シビックホール ②開催日:10 月 23 日(水)～29 日(火) 会 場:タカシマヤ ゲートタワーモール 4F	①入場者数:400 名 参加ブランド:8 参加学校:2 ②出展ブランド:5

2 収益事業

◎ 貸館事業 (1) 営業日:年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)の休館日及び臨時休館日を除く毎日 (2) 運営経費:光熱水費、賃借料、保守管理費、修繕費等

3 その他事業

事業名	事業内容	実績
ジャパン・テキスタイル・コンテスト(JTC) 2024	①テキスタイル産業における技術力、デザイン力、マーケティング力などの強化と、それを担う若い人材の発掘と育成を図り、ビジネスチャンスの拡大とものづくりの魅力を発信した。	・主 催:ジャパン・テキスタイル・コンテスト開催委員会 (構成団体:一宮市、一宮商工会議所、尾西毛織工業協同組合、一宮繊維卸商団体連合会、FDC) ・作品募集期間:8 月 1 日(木)～9 月 30 日(月) ・応募点数:203 点(一般の部 138 点、学生の部 65 点) ・審査日 :10 月 24 日(木)・25 日(金) ・作品展示:11 月 6 日(水)・7 日(木) (東京国際フォーラム) ・表彰式 :2025 年 3 月 5 日(水) (いちい信金アリーナ A) ・作品展示:2025 年 3 月 5 日(水)・6 日(木) (いちい信金アリーナ B)
	②製品化推進事業(デザイナービジネスマッチング) (一社)日本アパレル・ファッション産業協会を通じて募集したデザイナーに対し、原則3年間にわたり産地訪問費用等を助成し、産地企業とのマッチング強化を図った。	・参加者:9 名(2024 年度新規参加 3 名。2023 年度参加の 3 名と 2022 年度参加の 3 名計 6 名は継続)